

平成29年度 佐賀県強度行動障害支援者養成研修（第3回基礎研修）プログラム 1日目

2/5(月)	講義名	内 容	講 師（敬称略）
9:00～	受付		
9:30～10:00 講義0.5H	プロローグ ～強度行動障害のある人についての基本的な理解～	強度行動障害とは	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
		行動障害のある人への支援のこれまで	
		行動障害のある人が困っていること	
		行動障害への挑戦の意義と必要性	
10:00～11:00 講義1.0H	医療と一緒に ～福祉と医療の連携～	行動障害と医学的な診断	国立病院機構 肥前精神医療センター 會田 千重
		行動障害と医療的アプローチ	
		福祉と医療の連携	
11:00～11:10	休憩		
11:10～12:10 講義1.0H	私たちのことを知ってほしい ～強度行動障害に関する障害について～	自閉症スペクトラム障害について	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
		知的障害／精神障害について	
12:10～13:10	休憩		
13:10～14:10 演習1.0H	私たちが困っていること ～感覚の違いを体験しよう～	演習①「作業（視覚的な手がかりがない場合、ある場合）」	社会福祉法人はる 三城 眞貴枝
		演習②「作業（軍手をはめて）」	
		演習③「騒がしい環境での聞き取り」	
		演習④「狭い視野での活動」	
14:10～15:10 演習1.0H	わかりにくいんです ～伝わりにくさを体験しよう～	演習⑤「意味の分からない言葉での指示」	
		演習⑥「視覚と聴覚で違う情報」	
		演習⑦「分かりにくい提示」	
		グループ討議／まとめ	
15:10～15:20	休憩		
15:20～16:20 講義1.0H	ボクらと世界のつながり方 ～環境を整えることの大切さ～	支援に必要な環境整備・環境調整	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
		構造化の基本と手法	
16:20～16:50 演習0.5H	知ることから始めよう ～根拠を持って支援する～	演習⑨「アセスメント」	社会福祉法人はる 三城 眞貴枝

平成29年度 佐賀県強度行動障害支援者養成研修（第3回基礎研修）プログラム 2日目

2/14(水)	講義名	内 容	講 師（敬称略）
9:00～10:30 演習1.5H	本当の理由を考えよう ～氷山モデルで考える～	演習⑤「氷山モデル」	社会福祉法人はる 三城 眞貴枝
10:30～10:40	休憩		
10:40～12:10 演習1.5H	やりやすくする ～整えられた環境での活動～	演習⑧「本人に伝わりやすい環境と活動」	社会福祉法人はる 三城 眞貴枝
12:10～13:00	昼休み		
13:00～13:30 講義0.5H	みんなでやろうよ ～支援のプロセスと チームプレイの大切さ～	支援の基本的枠組み	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
		サービス等利用計画について～支援の基本的プロセス～	
		個別支援計画と支援手順書について	
		記録と情報共有	
13:30～14:00 演習0.5H	お互いに共有しよう ～記録と情報共有～	演習⑩「記録と情報共有」	社会福祉法人はる 三城 眞貴枝
14:00～14:30 講義0.5H	そのとき、あなたはどうしますか ～障害者虐待、身体拘束、行動制限の 防止は支援の向上から～	障害者虐待防止法とは	佐賀地区障がい者 権利支援センター 村岡 智紀
		行動障害と虐待	
		虐待をしない・させないために	
14:30～15:00 講義0.5H	支える仕組み ～制度理解のヒント～	行動障害のある人を支える制度	佐賀県障害福祉課
15:00～15:10	休憩		
15:10～16:10 講義1.0H	支援の現場から ～事例紹介～	児童期における支援の実際	療育サポートセンタークレア
		成人期における支援の実際	NPO法人それいゆ
16:10～17:10 講義1.0H	ひとりで悩まないで ～支援者ケアの大切さ～	援助することと感情労働	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
		援助者のストレスケアの方法	

\*都合により、プログラムや講師が変更となる場合がございます。ご了承ください。